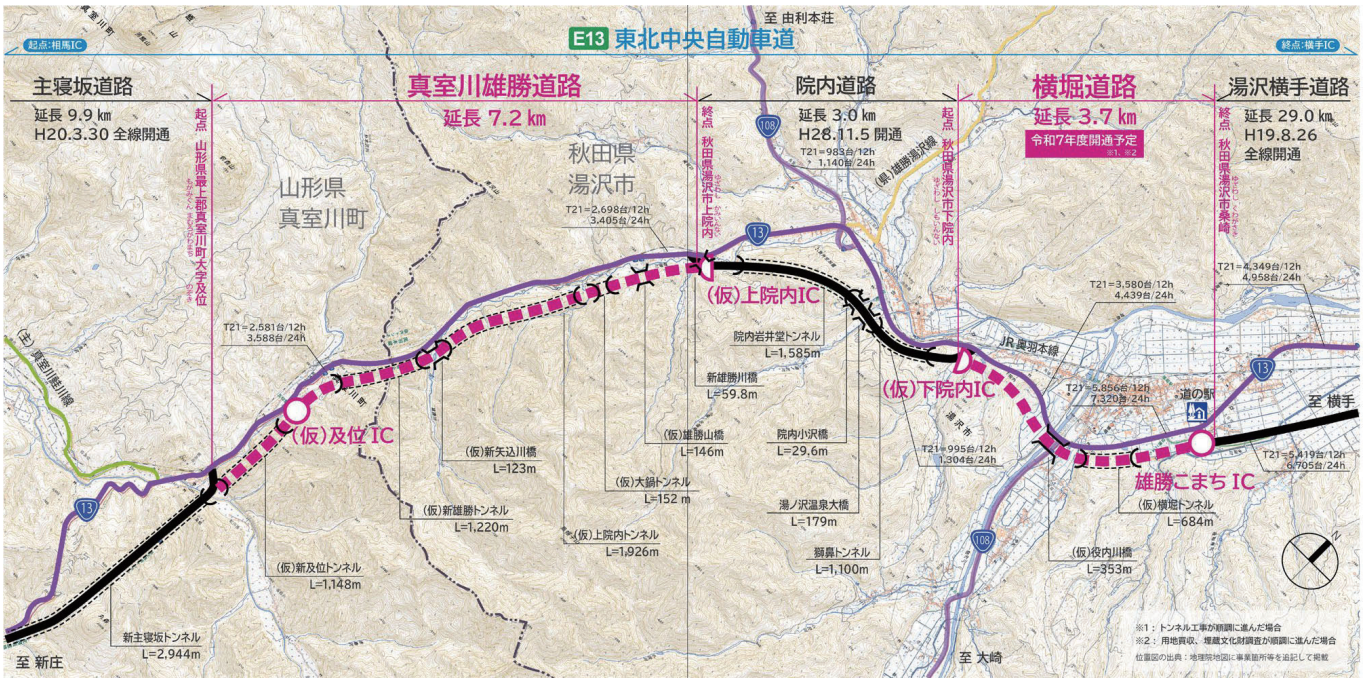
湯沢河川国道事務所の道路事業概要

―― 豊かで魅力ある 災害に強い 安心して暮らせる地域づくりのために

国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 所長　松原　寛



■はじめに

湯沢河川国道事務所は、1934 年 (昭和 18 年) に雄物川上流工事事務所として開所以来、秋田県南の道路、河川、砂防事業を担っており、今年で 80 年目の節目を迎えます。

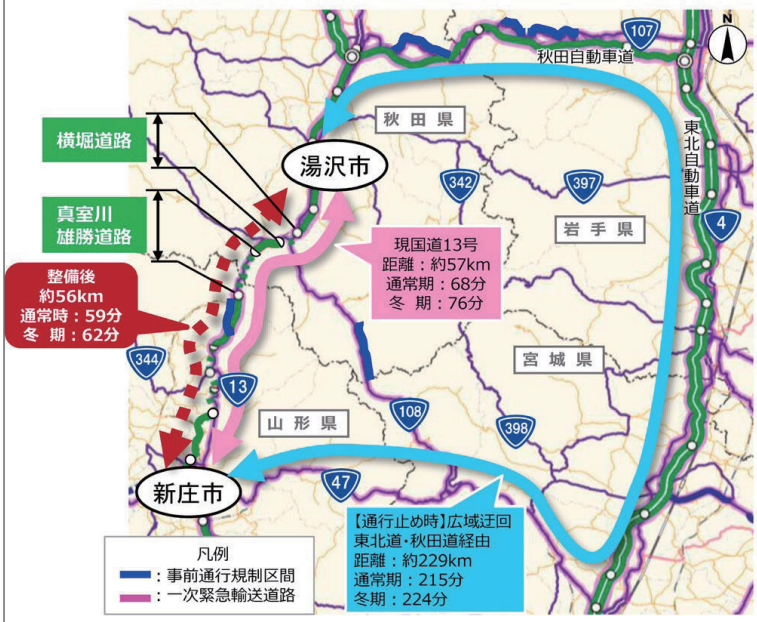
本稿では、当事務所が実施している東北中央自動車道の真室川雄勝道路と横堀道路について紹介します。

■東北中央自動車道

○事業概要

東北中央自動道は、福島県相馬市を起点とし、山形県米沢市や山形市等を経由して、秋田県横手市で秋田自動車道に連結する総延長 268km の高規格道路です。東北における高規格道路ネットワークを形成し、地域間交流や代替路としての機能を担う路線です。

▼整備による時間経過および広域迂回解消(新庄市～湯沢市)



出典：供用区間はETC2.0プローブデータ（通常：R3.10、冬期：R4.2）
供用区間でETC2.0プローブデータが無いところは規制速度
その他事業中区間（未供用）は80km/hで算出

横堀地区から山形方面を望む

雄勝こまち IC

このうち「真室川雄勝道路」及び「横堀道路」は、山形・秋田県境を結ぶ区間であり、雪に強い道路ネットワークの構築、都市間所要時間の短縮、周遊観光の支援などの効果が期待されます。

○整備効果

当該地域は特別豪雪地帯に位置づけられ、現道の国道 13 号は、冬期には事故等による通行止めに伴い広域迂回が余儀なくされるとともに、運搬排雪や集中除雪等の交通規制に伴う所要時間の増加など、冬期道路交通に課題があります。東北中央自動車道の整備により、広域迂回の解消、所要時間の短縮が図られ、住民生活や経済活動における安全性、信頼性の向上、周遊観光の促進が期待されます。

○横堀道路の整備

横堀道路 (下院内 IC(仮称)~ 雄勝こまち IC) の 3.7km 区間は、平成 27 年度に事業化しており、令和 7 年度の開通を目指し、橋梁工事や改良工事を推進しています。また、雄勝こまち IC を道の駅おがち (小町の郷) に直結させる工事も併せて行っており、道路と道の駅、双方の利便性の向上が期待されます。

○真室川雄勝道路の整備

秋田県と山形県の県境を跨ぐ真室川雄勝道路 (及位 IC(仮称)~ 上院内 IC(仮称)) の 7.2km 区間は、平成 29 年度に事業化、令和元年度から工事に着手しており、トンネル工事や改良工事、構造物工事を推進しています。

■おわりに

湯沢河川国道事務所では、秋田県南地域の優れた自然環境、景観、観光資源との調和を図りつつ、地域の安全・安心、発展・維持のため、道路事業の推進はもとより、建設生産システムの生産性向上やインフラの維持管理などの課題にも関係機関や地域の守り手である建設業の皆様とも協働しながら取り組んでまいります。

上院内 IC（仮称）より山形方面を望む